

ぐらみんへようこそ！

「端に触れたとき」を
命令しよう！



「端に触れたとき」を命令しよう（１）

Gra

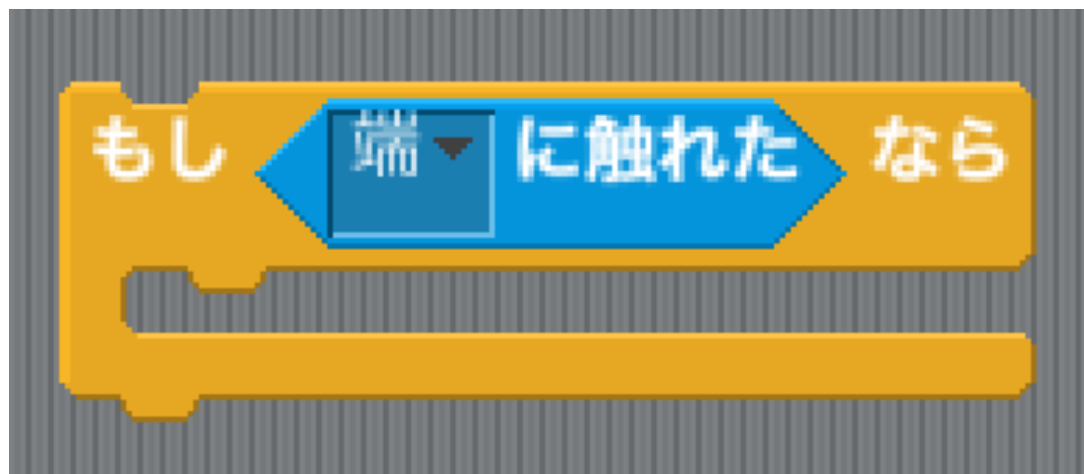
まずはこのブロックを作ってみよう！



「端（はし）に触（ふ）れたときにしたいこと」はこのブロックの間にはさもう！

「端に触れたとき」を命令しよう（２）

Gra



ただし「端に触れた」の場合「上の端」も「下の端」も「右の端」も「左の端」も「端」になってしまう。これでうまくいかない時には「座標（ざひょう）」を使おう！

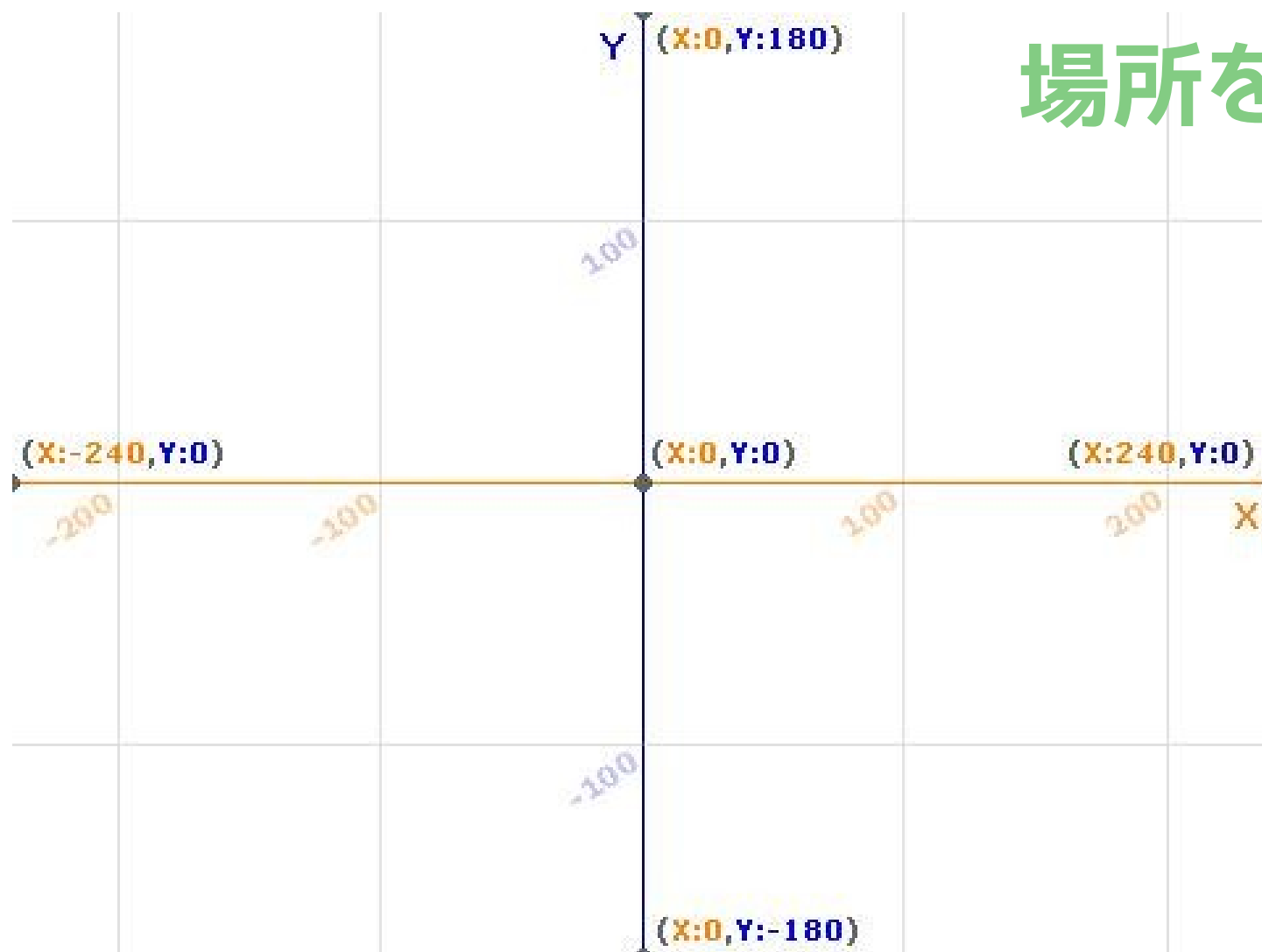


座標（ざひょう）ってなに？

座標（ざひょう）ってなに？（1）

Gra

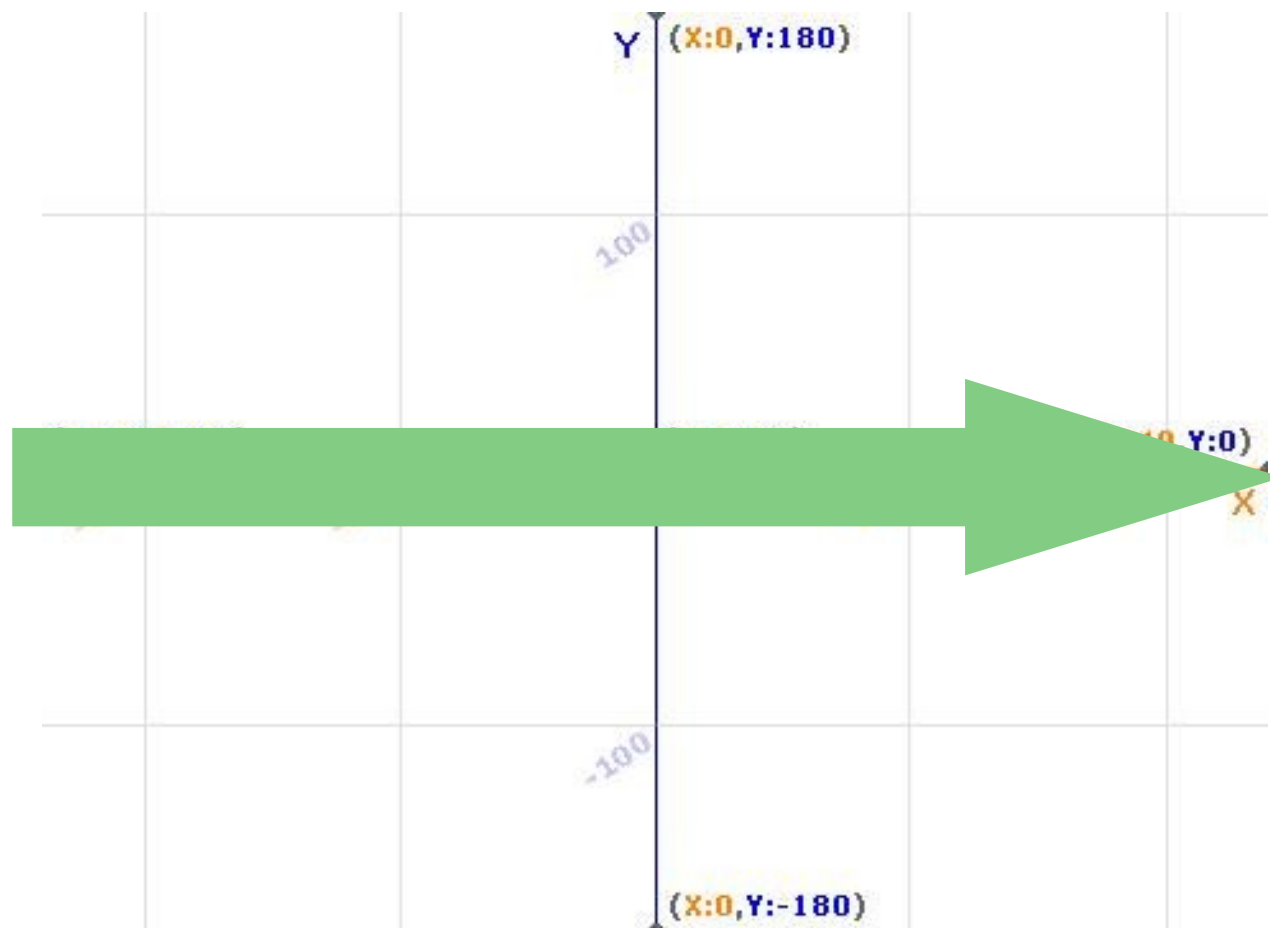
場所を表す言葉



座標（ざひょう）ってなに？（2）

Gra

横のことを「X（エックス）」という

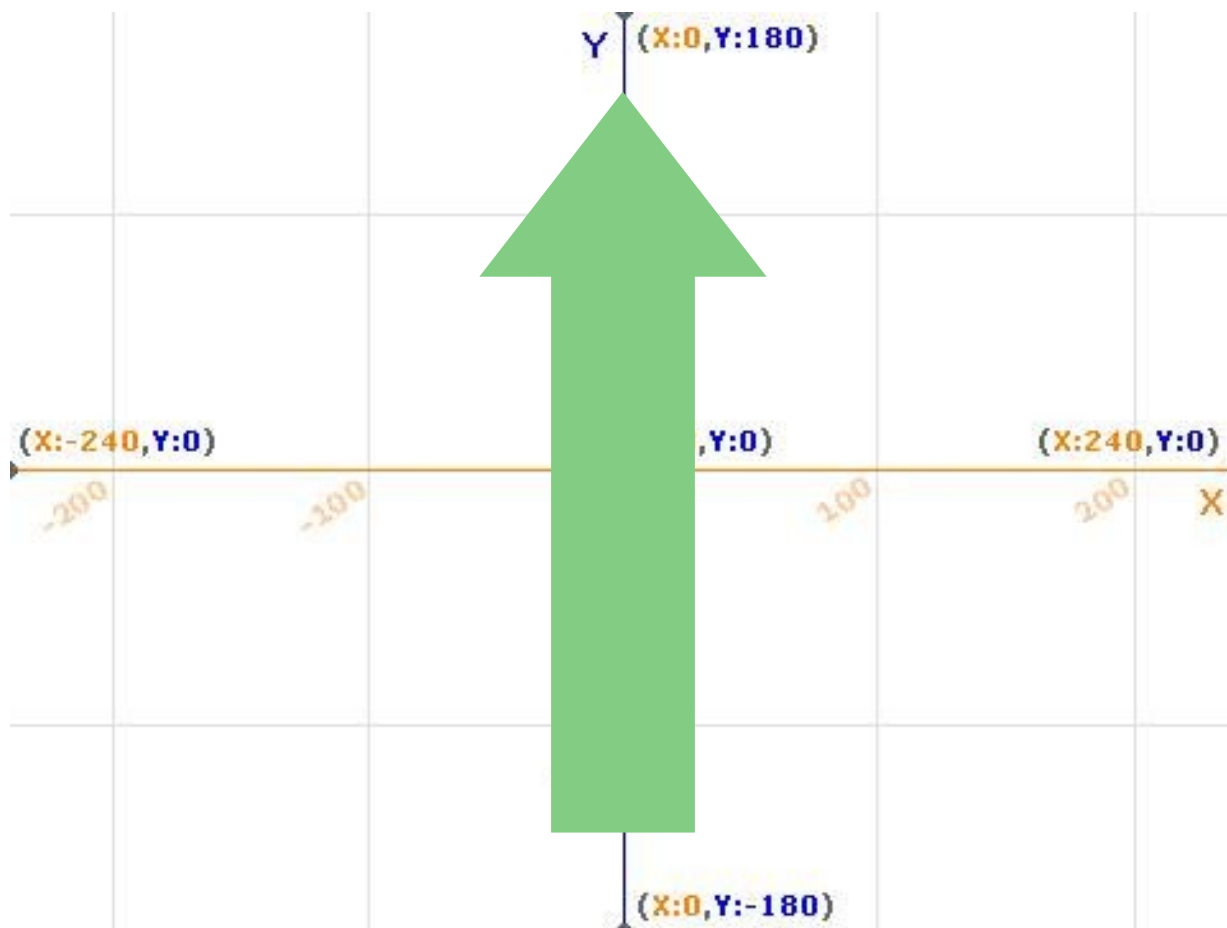


X

座標（ざひょう）ってなに？（3）

Gra

縦のことを「Y（ワイ）」という



Y

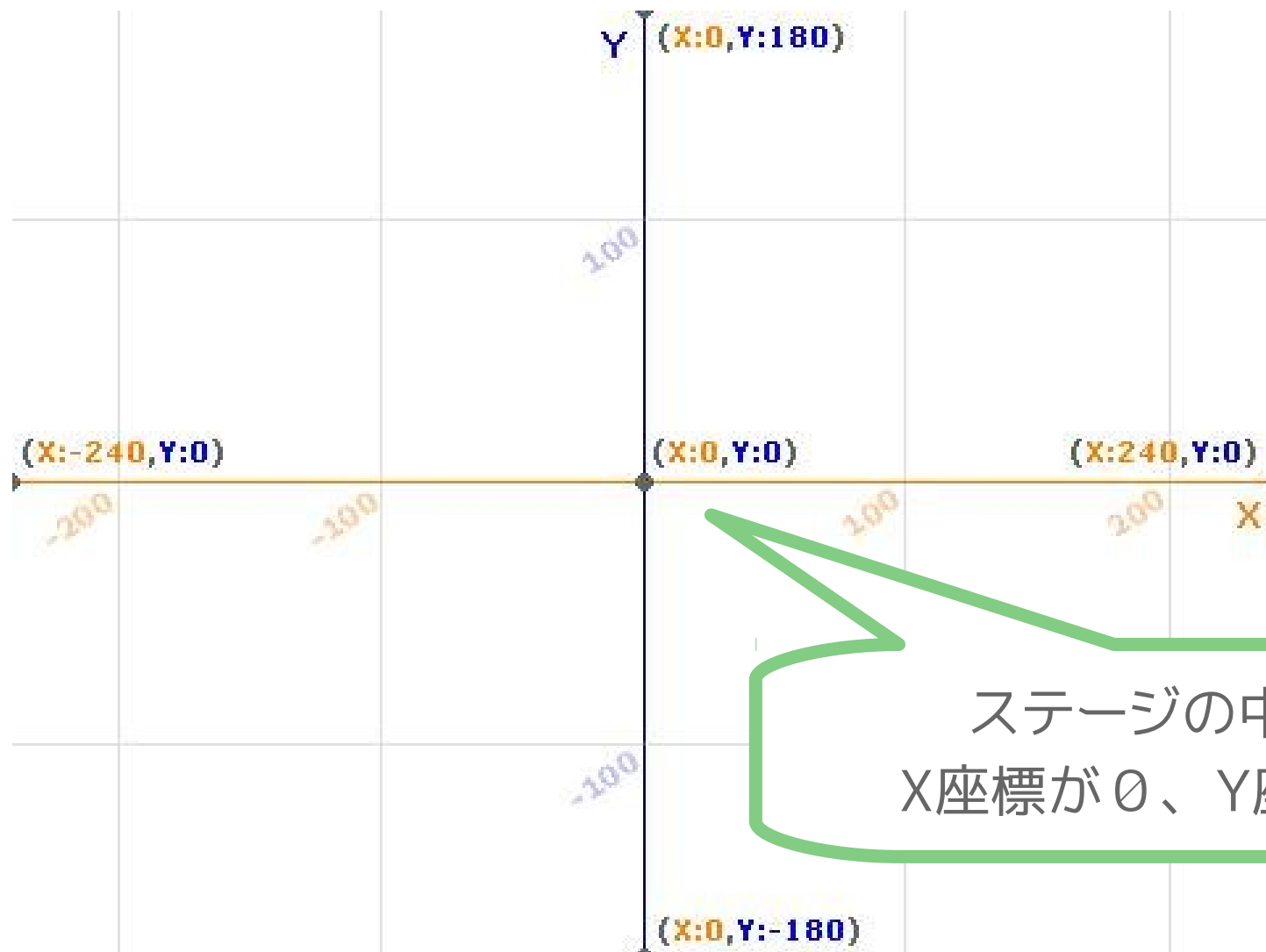


ステージの座標を知ろう！

ステージの座標を知ろう (1)

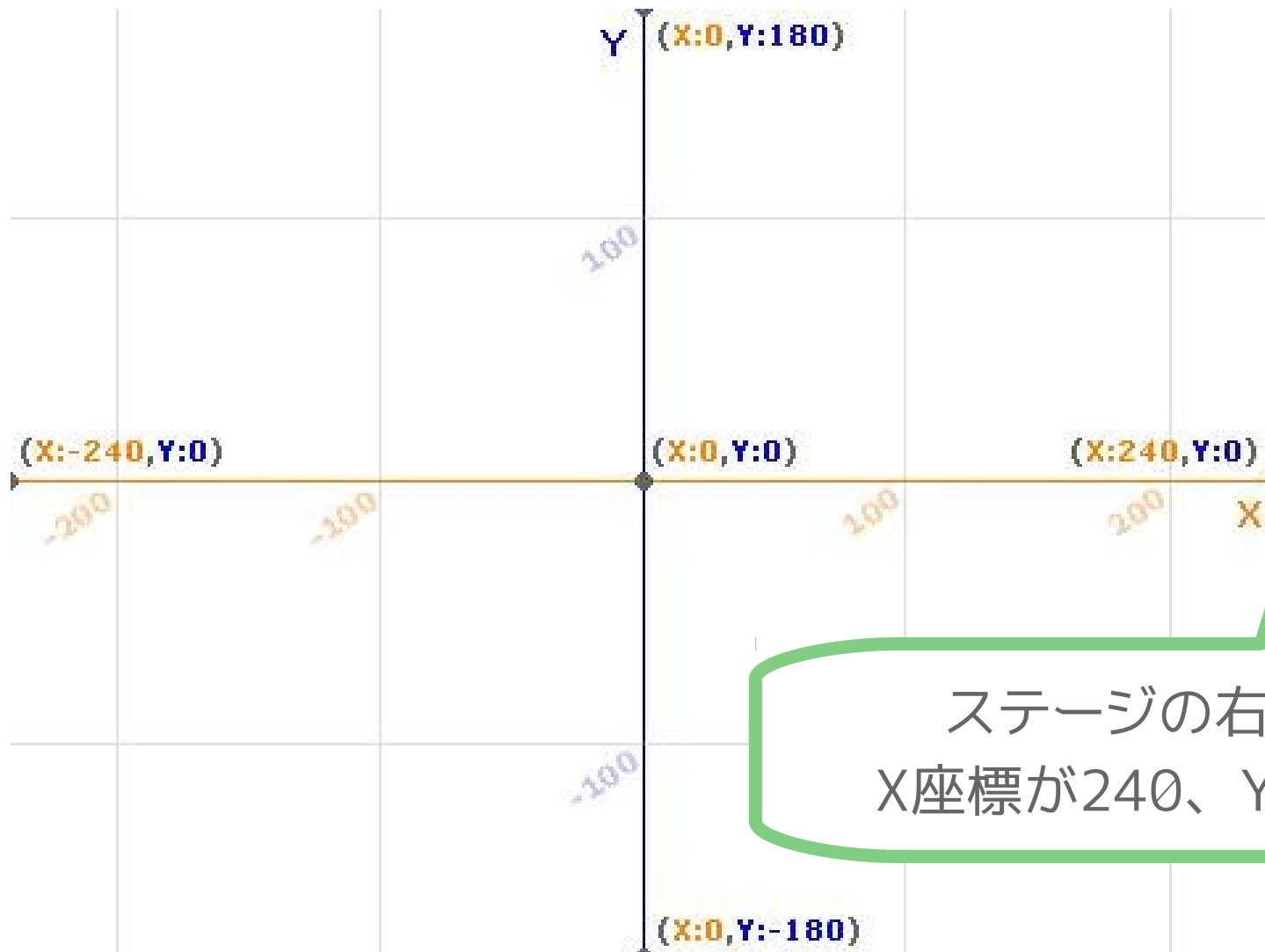
Gra

min



ステージの座標を知ろう (2)

Gra



ステージの右はしは
X座標が240、Y座標が0

ステージの座標を知ろう (3)

Gra



ステージの左はしは
X座標が -240、Y座標が 0

ステージの座標を知ろう (4)

ステージの上はしは
X座標が0、Y座標が180



ステージの座標を知ろう (5)

Gra



ステージの下はしは
X座標が0、Y座標が-180



座標を使って端を命令しよう！

座標を使って命令しよう（１）

Gra



「右端」は「X座標が 240 の場所」なので
このようなブロックで命令できるよ

座標を使って命令しよう（２）

Gra



「左端」は「X座標が -240 の場所」なのでこのようなブロックで命令できるよ

座標を使って命令しよう（3）

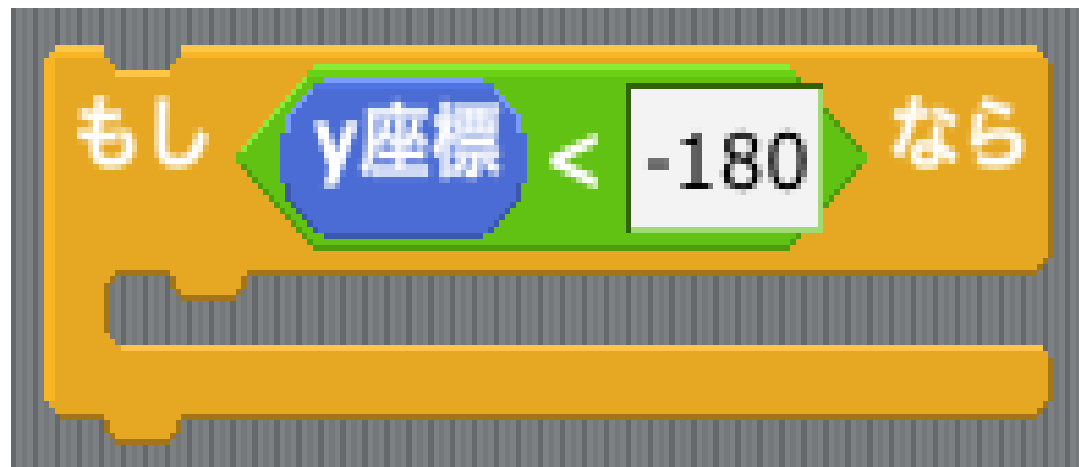
Gra



「上端」は「Y座標が 180 の場所」なので
このようなブロックで命令できるよ

座標を使って命令しよう（４）

Gra



「下端」は「Y座標が -180 の場所」なのでこのようなブロックで命令できるよ